

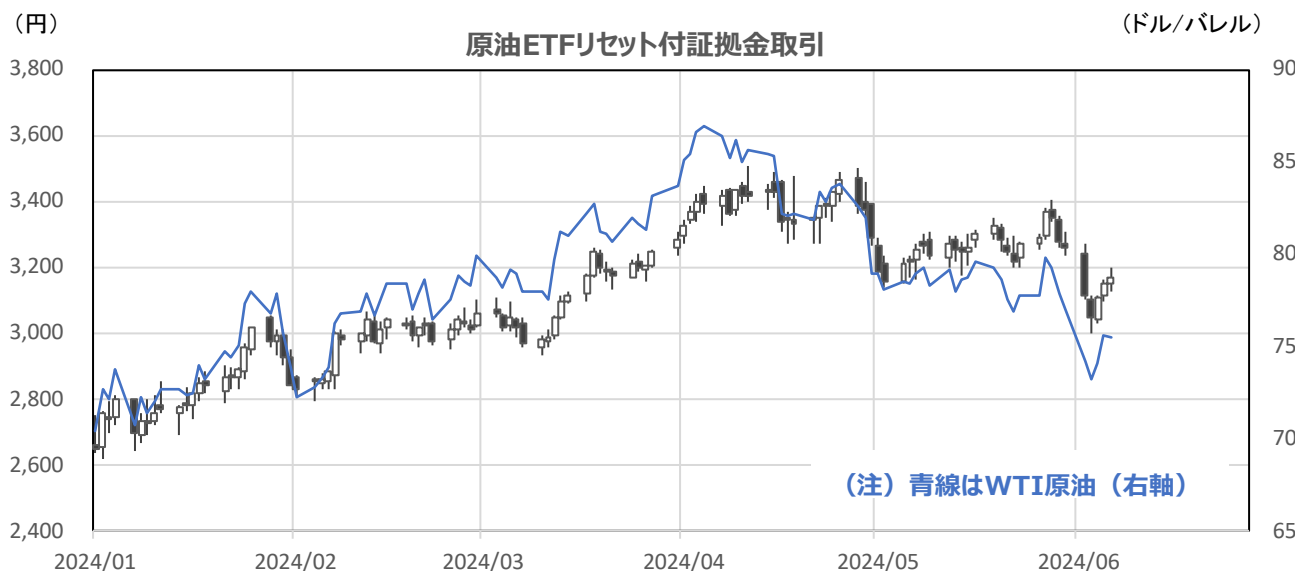
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/06/10号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## OPECプラスの減産縮小計画で一時急落

NY原油先物相場は、1バレル=72.48ドルまで急落して2月6日以来の安値を更新した後、75ドル台まで切り返す荒れた展開になった。6月2日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が開催され、2025年までの協調減産と自主減産計画の詳細が公表された。マーケットでは減産体制が維持されることよりも、今後の減産規模縮小計画が早くも示されたことが注目され、週明け直後から急落した。しかし、当面の需給環境に大きな変化は生じないことに加えて、ロシアとサウジアラビアが原油安が続いた場合の政策調整の可能性を示唆すると、押し目買いで急反発した。

OPECプラスは、7～9月期は6月の自主減産規模を維持するも、10月から来年9月に向けて段階的に減産規模を縮小していく方針を示した。また、OPECプラスの協調減産体制は2025年まで延長することが決まったが、来年の生産枠を日量54.2万バレル引き上げることが発表された。需要環境に大きな不確実性がある状況で、詳細な減産縮小計画を発表したことに対して危機感が高まった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月31日時点）は、原油が前週123万バレル増、ガソリンが210万バレル増、石油精製品が320万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 下げ一服で下値固めるも修正高まで、在庫統計に注目

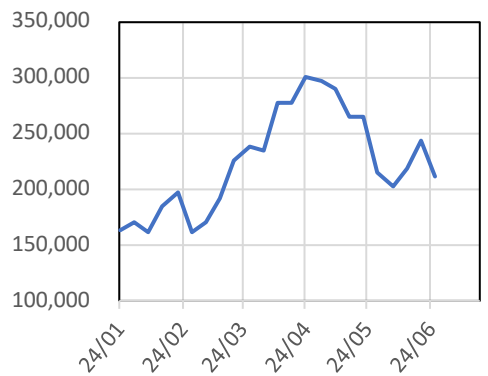
OPECプラス会合を受けて急落したが、70～75ドルのレンジは下げ過ぎ感が強い。OPECプラスの7～9月期の減産規模に変化は見られず、今後の需要動向次第では減産縮小計画の一時停止や撤回の可能性も想定されている。ドライブシーズンで季節的に需要も強含みやすく、75ドル水準での値固めが打診されよう。ただし、改めて上昇トレンドを形成するのであれば、在庫の取り崩しといった需給の引き締まりを明確に示すような動きが求められよう。

OPECプラス会合の評価については、マーケットの評価も割れている。米金融大手ゴールドマン・サックスは需給管理が失敗するリスクから弱気評価を下している一方、JPモルガンは夏季の在庫取り崩しで原油価格が底固く推移するとの見通しは変わらないとしている。OPECプラスの減産縮小計画が妥当か否かは今後の需要環境に依存するため、引き続き一方的な相場展開には発展しづらい。在庫統計に大きな変化がみられるのが重視される地合が続くが、最近の原油・石油製品在庫の水準に大きな変化は認められない。

6月11日にOPEC、12日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が発表される。需要見通しに大きな修正が行われると、原油相場が強く反応する可能性がある。特に現在の地合だと、需要見通しの下方修正には脆弱な環境にあることに注意が求められる。

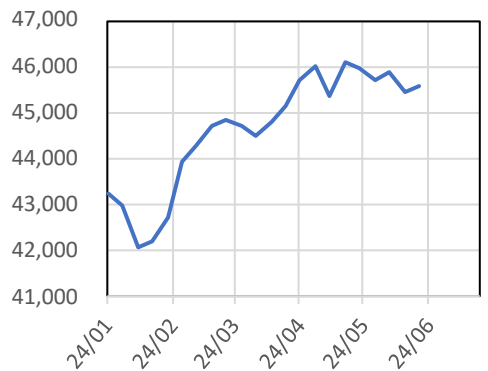
6月11～12日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。今後の米金融政策について明確なガイダンスなどが示される可能性は低いですが、ドルや株価が荒れる可能性には注意が必要。12日には6月米消費者物価指数も発表されるが、これも米金利やドルの動向に大きな影響を及ぼし得る。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



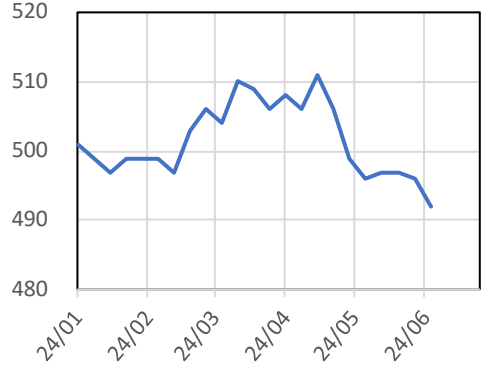
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

